

平成 28 年 1 月 20 日

仙台市長 奥山 恵美子 様

仙台市環境審議会
会長 西村 修



仙台市地球温暖化対策推進計画の改定について（答申）

平成 27 年 6 月 3 日付にて仙台市長より当審議会に諮問のありました仙台市地球温暖化対策推進計画の改定について、地球温暖化対策専門部会を設置するなどして慎重に審議検討を行った結果、結論を得ましたので、別添「仙台市地球温暖化対策推進計画 2016-2020」のとおり答申します。

今般、国連気候変動枠組条約第 21 回締約国会議（COP21）において、深刻さを増す地球温暖化に対する新たな国際枠組み「パリ協定」が採択され、世界的な平均気温上昇について 2℃目標よりも踏み込んだ「1.5℃に抑える努力」にも言及されました。そのような中、仙台市が計画を改定するのは時宜を得たものであり、本答申においては実効性も踏まえながら日本の約束草案を上回る目標を設定したところです。

今後、本答申の内容を踏まえた計画の速やかな成案化により、着実な施策の推進はもとより、世界の潮流に合わせ更に先を目指した取り組みが進むことを切に望むとともに、施策の推進においては特に下記の点に留意いただくよう、答申の附帯意見として申し述べます。

記

- 1 仙台の気候や自然、社会的な特性並びに置かれた状況など「仙台の現状」を踏まえ、平常時の低炭素化と災害時の対応力向上、準寒冷地における熱の有効活用、「杜の都」の恵みの享受など、仙台らしい取り組みにより、仙台市がリーダーシップを発揮して対策を推進することを期待します。
- 2 気候変動の影響が既に仙台においても現れ始めていることから、温室効果ガス削減のための緩和策のみならず、気候変動による影響に対し市民の健康や暮らし、地域経済のリスクを低減させるための適応策が推進されることを期待します。
- 3 市民・事業者等との協働や、国や県等との連携により、温室効果ガス排出量削減と地域経済発展の両立を目指した社会・経済の仕組みづくりに取り組むことを期待します。
- 4 温室効果ガス削減目標に加え設定した管理指標並びにその他効果的な「見える化」手法も用いて、取り組みの効果や成果を市民・事業者に対しわかりやすく示すことにより、市民・事業者の理解・意識の醸成並びに温室効果ガスの排出削減に寄与する行動が着実に広がっていくことを期待します。